

令和2年10月20日

記者発表

県水産試験場

漁業調査船「きのくに」の竣工式を行います

水産試験場では、漁業調査船を用いて、水温、潮流などの海洋観測や、主要魚種の資源調査、魚群探知による漁況予測を行い、漁業者に情報提供するとともに、メタンハイドレート調査にも活用しています。

このたび、旧調査船の老朽化に伴い、より高精度な調査や迅速な情報発信が可能な最新の調査機器を搭載した新船を建造しました。

[竣工式概要]

日時 令和2年11月2日(月) 14:00~15:30

場所 和歌山県漁業協同組合荷捌き所(東牟婁郡串本町串本1884番地)

- 内容
- ・主催者挨拶
 - ・祝辞
 - ・船員紹介
 - ・講演
 - ・テープカット
 - ・船内見学

<講演内容>

新漁業調査船と今後の本県漁業の展望(仮題)

(水産試験場長 岩橋 恵洋)

メタンハイドレート調査の現状と今後の展望(仮題)

(東京海洋大学准教授 青山 千春 氏)

[新漁業調査船の概要]

- 船名 : 「きのくに」
全長、総トン数 : 34.89m、108トン
建造費 : 1,236,180千円
造船所 : 新潟造船株式会社(新潟市)
最大搭載人員 : 11名

[新たな装備(主なもの)]

- 海洋データ処理 : 観測データを船上から陸上サーバーへシステム リアルタイムに送信
Aフレーム : 船体後方のクレーン。大型ネットによる採集調査により資源分析の精度向上
海底地形探査装置 : 新規漁場開発、メタンハイドレート調査に使用

(旧船の概要)

- 船名 : 「きのくに」
建造年月 : 平成8年11月
全長、総トン数 : 33.20m、99トン



観測データの分析室



Aフレーム

問い合わせ先

水産試験場 企画情報部 担当: 樫山、木下 農林水産総務課 研究推進室 担当: 西森、高橋
TEL 0735-62-0940 TEL 073-441-2995

漁業調査船「きのくに」竣工式 次第

日 時 令和2年11月2日（月）14時00分～
場 所 和歌山東漁業協同組合荷捌施設
（東牟婁郡串本町串本 1884 番地）

司会：研究推進室長

- 1 開 式 (14:00)
 - 2 主 催 者 挨 拶 (14:02) 和歌山県知事 仁坂 吉伸
 - 3 来 賓 祝 辞 (14:05) 和歌山県議会議長 岸本 健 様
和歌山県漁業協同組合連合会代表理事会長
木下 吉雄 様
 - 4 来 賓 紹 介 (14:13)
 - 5 船 員 紹 介 (14:20)
 - 6 講 演 (14:30) 新漁業調査船と今後の本県漁業の展望（仮題）
（水産試験場長 岩橋 恵洋）
(14:45) メタンハイドレート調査の現状と今後の展望（仮題）
（東京海洋大学准教授 青山 千春 様）

（会場移動） (15:00)
 - 7 テープカット (15:10) 知事、議長、串本町長、漁連会長、青山准教授
 - 8 謝 辞 (15:15) 農林水産部長 角谷 博史
- 船 内 見 学 (15:20～16:00)